

青木隆明(監修), 浅野昭裕(著)

運動療法に役立つ 単純 X 線像の読み方

福井 勉

(文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科教授)

この書籍を手にした時まず驚嘆した! 同時にこれだけの内容を集積した努力に勇気もいただいた。整形外科医が診断学に用いる単純 X 線像を「運動療法に役に立つ」観点から長年かけて集約したのが本著である。

序文にあるように、筆者である浅野昭裕氏は新人の時の教訓から、毎日毎日数万枚に及ぶ単純 X 線像の読影を日常坐臥としたという。そこで自分の疑問点を少しずつ解決していったのであろう。教わる書籍が無かった時代に恐らく相当数の時間を創造のために割かれたのだと推測する。それは臨床家である以上、治療効果の向上のため自然なものであったかもしれないが、普通はこういうことはできない。運動療法に役に立つ X 線画像の書籍がなかった経緯が筆者にこの本を執筆させた事実であるためか、何故? という言葉が本著を通じて常に聞こえてくるような気がする。

総論では如何に単純 X 線像を運動療法に利用する

のかという観点から、骨読影から固定状態、軟部組織、経過、変性疾患の合併の見方が記載されている。相当な臨床経験のある人でも価値は絶大と思われる。

さらに各論は圧巻である。「治療過程で生ずる創傷部の瘢痕化と軟部組織の滑走性や伸張性低下」について筆者が悩んできたことが具体的かつ詳細に記載されている。また随所で知識の整理がされるように配慮されている。整形外科用語の解説、Keyword による個別の掘り下げた解説、様々な骨折の分類方法、重要な角度など医療従事者が覚えるべき単純 X 線の知識が全て入っていると行って良い。最後に特筆すべきことは、24 ページにわたる「絵の描き方」である。臨床力を高める洗練された技術について益を生み、美しい方法論も瞠目する内容である。

本著は短時間での読破は不可能である。担当症例とともに熟読玩味しながら成長していく読み方が理に適うと思う。同時に筆者の様な地道な努力ができるかと読者に投げかけているようにも感じてならない。

●B5 判変型・360 頁・2 色刷

定価 5,670 円(5,400 円+税)

2011 年 9 月 メジカルビュー社・刊

◎PT ジャーナル/バックナンバーと特集テーマのご案内

過去 2 年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は弊社販売部(☎ 03-3817-5660 FAX 03-3815-7804)までお申し込み下さい。それ以前の号については東亜ブック(☎171-0014 東京都豊島区池袋 4-13-4 ☎ 03-3985-4701 FAX 03-3985-4703 e-mail: st@toabook.com URL: http://www.toabook.com/)にお問い合わせ下さい。

[第 44 巻(2010 年)]

- 第 1 号 これからの理学療法
- 第 2 号 脳卒中のゴール設定
- 第 3 号 病期別理学療法モデル
- 第 4 号 筋力増強—update
- 第 5 号 新人教育
- 第 6 号 呼吸機能障害とチーム医療
- 第 7 号 在宅理学療法の実践
- 第 8 号 徒手理学療法
- 第 9 号 画像を活かした脳損傷のケーススタディ

- 第 10 号 身体障害者スポーツと理学療法の関わり
- 第 11 号 症例検討—脳血管障害患者を多側面から診る
- 第 12 号 股関節疾患の理学療法—update
- [第 45 巻(2011 年)]
- 第 1 号 自立支援
- 第 2 号 通所サービスにおける理学療法
- 第 3 号 脳卒中片麻痺患者の装具と運動療法
- 第 4 号 ロコモティブシンドローム
- 第 5 号 がん患者のリハビリテーションと理学療法
- 第 6 号 小児理学療法の新たな展開
- 第 7 号 神経生理学的アプローチの転換
- 第 8 号 糖尿病の理学療法
- 第 9 号 足部・足関節の機能と理学療法
- 第 10 号 認知症の理学療法
- 第 11 号 チーム医療における理学療法士の役割